

高知県感染症発生動向調査(週報)

2010年第37週[9月13日～9月19日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>
 E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

県内情報

○ 患者情報総評

注意報発令疾患：咽頭結膜熱

- 前週に続いて朝夕は涼しくなったが、日中はまだまだ暑い日が続いており、熱中症対策を万全にする必要がある。増減を繰り返している疾患が多いが、減少の幅が大きいため、総数も前々週並みに減少した。
- 咽頭結膜熱（安芸：注意報→警報，中央西：警報→注意報，高知市：注意報→注意報，高幡：注意報→注意報）はやや減少したが、前週に続いて注意報値を超している。

上位疾患構成図

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

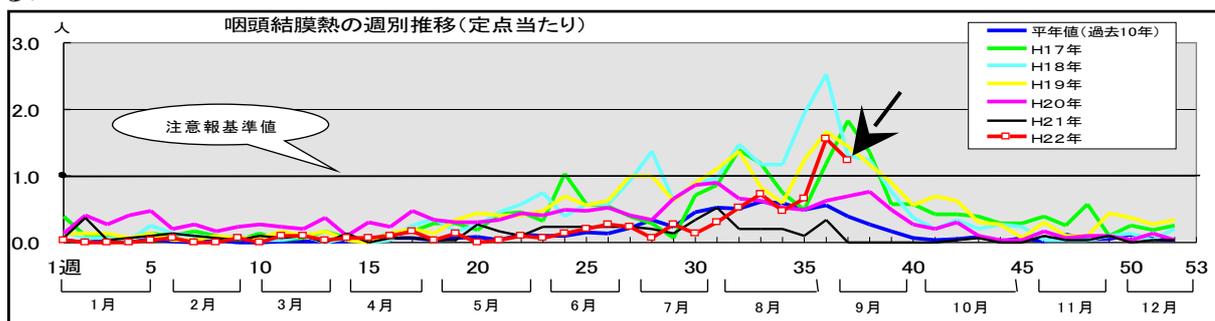


地域別感染症注意報・警報発生状況 第37報 (2010年9月13日～2010年9月19日)



咽頭結膜熱：今週1.23 (注意報値：1.00 警報値：3.00)

大幅に増加した安芸を除いて他の地域は減少に転じたため、総数も減少したが報告数は多い。安芸は警報値を超える報告数となった。この時期は流行のみられる年が多く、引き続き今後の推移が注目される。



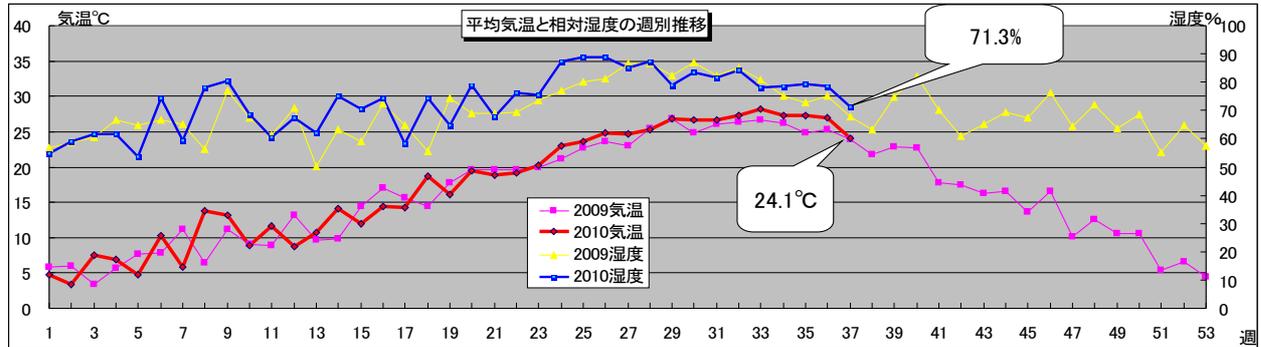
○ 検査情報

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
33	咽頭結膜熱	3歳 男	須崎	Adenovirus 3
35	咽頭結膜熱	1歳 男	須崎	Adenovirus 2
35	咽頭結膜熱	4歳 女	須崎	Adenovirus 2

○ 全数報告の感染症情報

4類感染症： Dengue熱 1例（22歳女：インドネシア滞在）《高知市》（今年1例）
日本紅斑熱 2例（60歳女）《中央東》，（83歳女）《高知市》（今年6例）

○ 高知県の平均気温と湿度（週別）



○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《さたけ小児科》：アデノウイルスによる滲出性扁桃炎 1例（2歳女）

高幡：

《もりはた小児科》：百日咳の1例（12歳男）は東浜株80倍，山口株640倍
マイコプラズマ肺炎 1例（7歳女）

中央西：

《石黒小児科》：帯状疱疹 1例（8歳女）
アデノウイルス感染症が続いている。
百日咳（成人）も引き続き流行中。

《くぼたこどもクリニック》：感染性胃腸炎の1例（2歳女）は須崎市

高知市：

《けら小児科・アレルギー科》：カンピロバクター腸炎 3例（1,5歳男，7歳女）
咽頭結膜熱の6例（0,0,1,2歳男，1歳女：2例）はアデノウイルス感染症
百日咳の1例（44歳女）は東浜株40倍，山口株2,560倍，DPT4回済み
《福井小児科・内科・循環器科》：咽頭結膜熱の3例（6,2歳男，5歳女）はアデノウイルス陽性
百日咳の1例（1歳女：東浜株160倍，山口株320倍）は母が別の病院
で百日咳と診断，1例（2歳男）
《細木病院小児科》：カンピロバクター 1例（16歳女）
《三愛病院小児科》：帯状疱疹 1例（8歳男）

全国情報第35週（8/30～9/5）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核368例

3類感染症：コレラ1例、細菌性赤痢5例、腸管出血性大腸菌感染症161例（有症者111例、うちHUS 6例）、腸チフス1例、パラチフス1例

4類感染症：A型肝炎2例、Dengue熱11例、日本紅斑熱1例、マラリア3例、レジオネラ症8例

5類感染症：アメーバ赤痢16例、ウイルス性肝炎1例、急性脳炎4例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、後天性免疫不全症候群8例（AIDS 3例、無症候4例、その他1例）、ジアルジア症1例、梅毒3例、破傷風3例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、風しん2例、麻しん6例

（補）他に2010年第34週までに診断されたものの報告遅れとして、E型肝炎1例、レジオネラ症1例、急性脳炎2例、クリプトスポリジウム症1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん1例などの報告があった。

◆腸管出血性大腸菌感染症（2010年9月8日現在）

2010年の腸管出血性大腸菌感染症報告数は、例年同様に第20週から増加し始めた。第22～24週にかけて、三重県の中学・高校における大規模な集団感染事例（189例）が発生したことで一時的に報告が急増した。そ

の後いったん減少したが、第26週以降再び増加して第31週に200例を超え、第32週188例、第33週233例、第34週253例で、第35週は161例であった。本年第35週までの累積報告数2,805例は、2000年以降の各年同期間の累積報告数と比較して2001年、2007年、2008年に次いで4番目に多い報告数である（2000年2,270例、2001年3,534例、2002年2,452例、2003年1,717例、2004年2,648例、2005年2,417例、2006年2,618例、2007年2,890例、2008年2,864例、2009年2,352例）。

第35週に報告のあった161例は、患者（有症状者）が111例（69%）、無症状病原体保有者が50例（31%）であった。都道府県別にみると、大阪府（23例）、東京都（14例）、宮城県（13例）、兵庫県（12例）、三重県と佐賀県（各8例）の報告が多かった。三重県では、福祉施設でO157VT1・VT2による集団感染が発生し、これまでに4例が報告されている。性別では男性66例、女性95例であり、年齢群別では0～9歳55例、10～19歳23例、30～39歳22例の順に多かった。腸管出血性大腸菌感染症の重篤な合併症である溶血性尿毒症症候群（HUS）の発症者は6例（1歳、3歳、7歳、8歳、20代、70代）おり、病原体の診断方法は菌分離が4例（O157 VT1・VT2、O157 VT2、O157 VT不明、0不明VT不明）、血清でのO抗原凝集抗体の検出が2例であった。

第1～35週の累積報告数2,805例についてみると、報告の多い都道府県は、三重県（291例）、東京都（237例）、福岡県（203例）、愛知県（173例）、大阪府（169例）であり、性別では男性1,314例、女性1,491例、年齢群別では0～9歳839例、10～19歳556例、20～29歳430例の順に多い。

推定または確定された感染源・感染経路として、肉の喫食が記載されていたのは434例（15%）であり、そのうち生肉または加熱不十分の肉を喫食していた者が207例（1歳3例、2歳4例、3歳6例、4歳3例、5～9歳38例、10～14歳18例、15歳以上135例）であった。

上述の三重県以外に最近発生した集団感染として、第30週から長野県の保育施設関連（O26VT1）、第32～34週に栃木県の地域の祭り関連（O157 VT1・VT2）、第33～34週に富山県の保育施設関連（O157 VT1・VT2）、第34週から奈良県の保育施設関連（O26 VT1）などがあつた。

HUS発症者は累計63例（有症状者でのHUS発症率3.4%）報告されており、性別では男性25例、女性38例で、年齢群別では0～4歳32例（同7.7%）、5～9歳7例（同2.5%）、10～14歳5例（同2.9%）、15～64歳9例（同1.1%）、65歳以上10例（同5.5%）であった。そのうち菌の分離が確認されたのは45例で、内訳はO157が39例（VT1・VT2 21例、VT2 13例、VT不明5例）、O121が2例（いずれもVT2）、O26が1例（VT1）、O145が1例（VT2）、0不明が2例（VT1・VT2 1例、VT不明1例）であった。死亡例はこれまでに2歳男性（O157 VT1・VT2、HUS発症）、70代女性（O157 VT1・VT2、HUS発症せず）、90代男性（O157 VT1・VT2、HUS発症せず）の3例が報告されている。

前週（第34週）と比較して報告数が減少したものの、未だ150例を超える報告が続いており、引き続き予防対策の徹底が必要である。食肉の十分な加熱処理などにより、食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが重要である。

（補）菌の検出状況については、<http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph-lj.html> をご参照ください。

◆手足口病患者から検出されているエンテロウイルス 2010年

エンテロウイルス71型（EV71）は、過去1997、2000、2003、2006年と3年周期で増加を繰り返している。2009年の報告は少なかったが、2010年は例年より早い時期から検出されており、第33週までに西日本を中心に34道府県から554件が報告され、2006年（322件）を上回っている。都道府県別では、高知県93件、大阪府56件、鳥取県42件、大分県31件、愛知県28件、広島県27件、愛媛県24件、栃木県、兵庫県各23件、和歌山県22件、福岡県21件、熊本県18件、山形県、奈良県各16件、島根県15件、岐阜県、香川県各10件、石川県9件、群馬県、三重県、山口県各8件、神奈川県7件、長野県6件などである。このうち、手足口病患者から428件、無菌性髄膜炎患者から33件、ヘルパンギーナ患者から14件、急性脳炎・脳症患者から4件が検出されている。

EV71の他に手足口病患者から検出されているエンテロウイルスは、A群コクサッキーウイルス（CA）16型19件（山形県12件、神奈川県4件、埼玉県2件、愛媛県1件）、CA6型34件（神奈川県10件、富山県9件、秋田県8件、栃木県、新潟県各2件、山形県、石川県、大分県各1件）、CA4型10件（神奈川県、大阪府各3件、栃木県、奈良県、和歌山県、福岡県各1件）、CA5型3件（島根県2件、高知県1件）、CA2型2件（神奈川県、高知県各1件）、CA9型2件（長野県、鹿児島県各1件）などが報告されている。

◆ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2010年

2010年第1～35週までの検出総数は780件であり、このうち、集団発生例からは、第9～10週山形県でO111（VT1）が7件（老人ホーム）、第16～18週京都府でO157（VT1&VT2）が4件（飲食店）、第22週兵庫県でO157（VT1&VT2）が3件（飲食店）、第27～28週三重県でO157（VT1&VT2）が6件（飲食店）、第28週山形県でO26（VT1）が6件（福祉・養護施設）、第30週神奈川県でO157（VT2）が2件（飲食店）、第30～32週岩手県でO26（VT1）が6件（保育所）、第30～32週佐賀県でO103（VT1）が11件（保育所）、第31～32週岩手県でO26（VT1）が21件（福祉・養護施設）、第32週神奈川県でO157（VT1&VT2）が2件（飲食店）、第32～33週富山県でO157（VT1&VT2）が16件（保育所）、第34週佐賀県でO157（VT1&VT2）が2件（保育所）検出されている。

また、渡航者からは、第3週大阪府（インドネシア）、第6週千葉県（ニュージーランド）、第16週静岡県（ベトナム）、第22週千葉県（韓国）、第25週京都府（韓国）でO157が各1件検出されている。

2010年1～9月にO157が36都道府県から521件、O26が29道府県から148件、その他の血清型が27都道府県から113件（このうち、O103が11都県から23件、O111が8県から20件、O91が11道府県から17件）報告されている。

定点名	医療圏 疾病名	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週	全国(36週)	高知県(37週末累計) H22/1/4~H22/9/19	全国(36週末累計) H22/1/4~H22/9/12	
			中央東	高知市	中央西								
内科・小児科	インフルエンザ								3 (0.06)	202 (0.04)	2,552 (53.17)	224,525 (47.06)	
小児科	咽頭結膜熱	11		17	7	2		37 (1.23)	47 (1.57)	1,189 (0.39)	240 (8.00)	26,393 (8.72)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	9	2	1	3	16 (0.53)	9 (0.30)	1,811 (0.60)	779 (25.97)	137,838 (45.52)	
	感染性胃腸炎	5	9	26	14		11	65 (2.17)	50 (1.67)	9,825 (3.25)	7,379 (245.97)	824,780 (272.38)	
	水痘		11	14	1	3	2	31 (1.03)	20 (0.67)	1,668 (0.55)	1,577 (52.57)	169,662 (56.03)	
	手足口病	3	4	1	2	3	2	15 (0.50)	36 (1.20)	3,130 (1.04)	3,201 (106.70)	132,665 (43.81)	
	伝染性紅斑	1		1	1			3 (0.10)	11 (0.37)	798 (0.26)	207 (6.90)	32,733 (10.81)	
	突発性発疹	1	1	3	2		2	9 (0.30)	19 (0.63)	2,155 (0.71)	459 (15.30)	63,806 (21.07)	
	百日咳			3	1	1		5 (0.17)	2 (0.07)	88 (0.03)	61 (2.03)	4,053 (1.34)	
	ヘルパンギーナ			1	2	1	1	5 (0.17)	15 (0.50)	2,311 (0.76)	999 (33.30)	133,023 (43.93)	
	流行性耳下腺炎		1	2				3	6 (0.20)	4 (0.13)	3,149 (1.04)	187 (6.23)	124,506 (41.12)
	RSウイルス感染症			1				1 (0.03)		568 (0.19)	761 (25.37)	47,557 (15.71)	
眼科	急性出血性結膜炎									8 (0.01)	2 (0.67)	437 (0.64)	
	流行性角結膜炎			4				4 (1.33)		543 (0.80)	60 (20.00)	14,534 (21.44)	
基幹	細菌性髄膜炎									13 (0.03)	11 (1.57)	339 (0.73)	
	無菌性髄膜炎						1	1 (0.14)	1 (0.14)	17 (0.04)	17 (2.43)	594 (1.29)	
	マイコプラズマ肺炎			1				1 (0.14)	1 (0.14)	147 (0.32)	50 (7.14)	6,158 (13.33)	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									13 (0.03)	21 (3.00)	423 (0.92)	
計 (小児科定点当たり人数)	21 (10.50)	27 (3.86)	83 (7.09)	32 (10.67)	11 (5.50)	25 (4.80)	199 (6.43)						
前週 (小児科定点当たり人数)	20 (10.00)	40 (5.71)	93 (8.27)	34 (11.07)	13 (6.50)	18 (3.53)		218 (7.16)	27,635	18,563 (581.50)	1,944,026		

注 ()は定点当たり人数。

定点当たり

第37週

定点名	医療圏 疾病名	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週	全国(36週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ							0.06	0.04	
小児科	咽頭結膜熱	5.50		1.55	2.33	1.00	1.23	1.57	0.39	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.14	0.82	0.67	0.50	0.60	0.30	0.60	
	感染性胃腸炎	2.50	1.29	2.36	4.67	2.20	2.17	1.67	3.25	
	水痘		1.57	1.27	0.33	1.50	0.40	1.03	0.55	
	手足口病	1.50	0.57	0.09	0.67	1.50	0.40	0.50	1.04	
	伝染性紅斑	0.50		0.09	0.33			0.10	0.26	
	突発性発疹	0.50	0.14	0.27	0.67	0.40	0.30	0.63	0.71	
	百日咳			0.27	0.33	0.50		0.17	0.03	
	ヘルパンギーナ			0.09	0.67	0.50	0.20	0.17	0.76	
	流行性耳下腺炎		0.14	0.18			0.60	0.20	1.04	
	RSウイルス感染症			0.09				0.03	0.19	
眼科	急性出血性結膜炎								0.01	
	流行性角結膜炎			4.00			1.33		0.80	
基幹	細菌性髄膜炎								0.03	
	無菌性髄膜炎					1.00	0.14	0.14	0.04	
	マイコプラズマ肺炎			0.20			0.14	0.14	0.32	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								0.03	
計 (小児科定点当たり人数)	10.50	3.86	7.09	10.67	5.50	4.80	6.43			
前週 (小児科定点当たり人数)	10.00	5.71	8.27	11.07	6.50	3.53		7.16		

2010年週報推移(定点当たり)

